

## 日本花粉学会学術受賞について

富山県農村医学研究所 客員研究員

富山医療生活協同組合富山協立病院医師

寺西秀豊

札幌で開かれた日本花粉学会第55回大会（2014年9月12日～15日）で、第16回日本花粉学会学会賞（学術賞）を受賞しました（写真1、写真2）。研究テーマは「花粉症に対する疫学研究と総合的対策に向けた空中生物学的研究」です。私の長年の研究が学術的に認められ、大変有難いことだと思っています。

私は、1973年金沢大学医学部卒業後、石川県保健所と協力して、ブタクサ繁茂が学童に与える影響について疫学調査に取り組みました。その後、富山に来てからはナン果樹園における花粉症など、農村の花粉暴露の危険性を記載しました。スギ花

粉症に関しては、1983年より空中花粉検索を開始し、花粉情報システム確立に寄与することができました。その後、1989年に花粉症研究会をつくり林学研究者等と共同研究を行い、正確な花粉飛散予報理論開発や、花粉飛散と患者発症の量反応関係の解明などの研究成果をあげられることができました。富山県林業試験場(現・富山県森林研究所)と共同で、日本で初めて発見された'花粉を飛散しない無花粉スギ（雄性不稔スギ）'の研究にも取り組み、根本的な花粉源対策に向けた研究の素地を築くことができました（写真3）。

学会活動としては富山で2003年日本花粉学会第



写真1. 受賞式（2014年9月13日）  
佐橋紀男会長より表彰状を頂いた。



写真2. 日本花粉学会学術賞表彰状

44回大会を開催し、2012年には東京都で第13回国際花粉学会議 (IPC/IOPC) を開催することができました。こうした成果をあげられたのは、多くの方々のご理解ご協力によるものです。花粉症研究会および富山県農村医学研究会の先生方には大変お世話になりました。特に、槻陽一郎 (故人)、豊田務 (故人)、加須屋実 (富山大学)、加藤輝隆 (富山大学)、五十嵐隆夫 (富山大学)、足立陽子

(富山大学)、鏡森定信 (富山大学)、林節男 (富山県立大学)、平英彰 (新潟大学)、斎藤真己 (富山県森林研究所)、剣田幸子 (富山市)、大浦栄次 (富山県農村医学研究所) の諸先生には大変お世話になりました。その他の方々にも温かいご援助を頂きました。この機会をかりて心よりお礼申し上げます。



写真3. 富山県森林研究所の無花粉スギ苗